



ヘッドカバー
付属品

Made in CHINA

ヤマハ純正トルクレンチ
¥2,200 (税込)
別売り

Made in TAIWAN

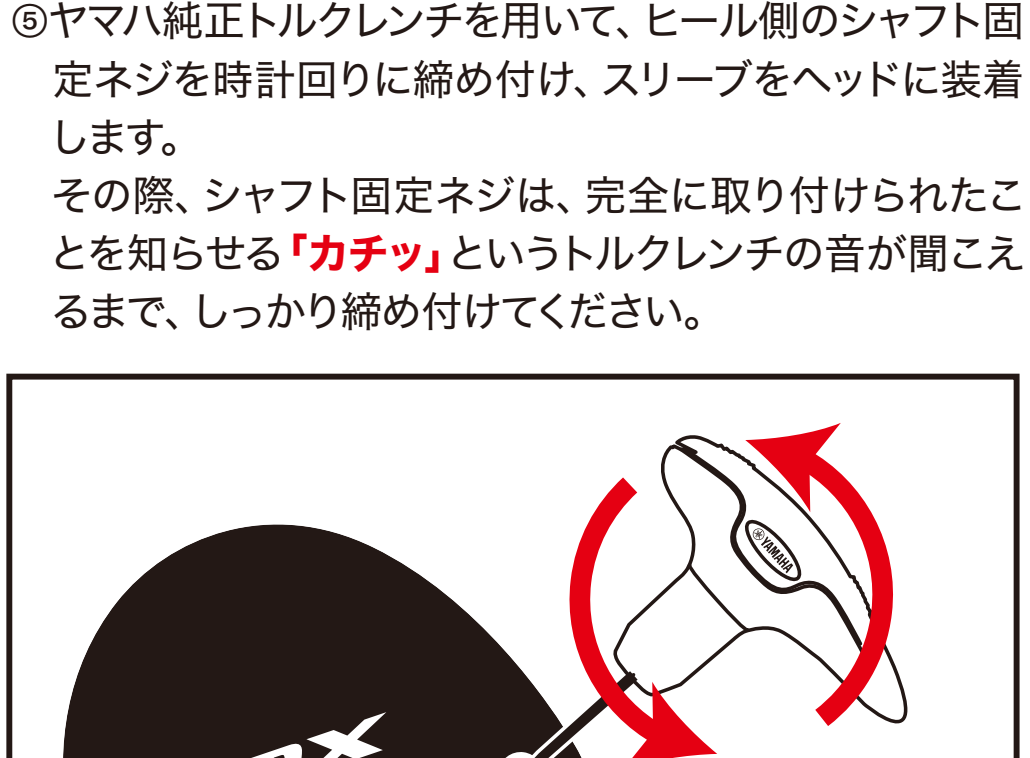
ヤマハ純正トルクレンチをお持ちでないお客様は、ヤマハゴルフ用品お取り扱い店にてお問い合わせください。
他メーカーのトルクレンチ、及び購入から5年以上経過したトルクレンチにつきましては、安全のため使用しないでください。

角度調整用スリーブの調整方法

ホーゼルへのスリーブの挿し込み方でロフト角、ライ角を調整することが可能です。
球のつかまり具合・上がり具合を、お好みのフィーリングに合ったポジションをお選びいただけます。



お好みのロフト角/ライ角の文字位置が手前に来るようにして挿し込んでください。



ヘッドのネック部分の▼とスリーブの印を合わせて挿し込んでください。

スリーブの説明



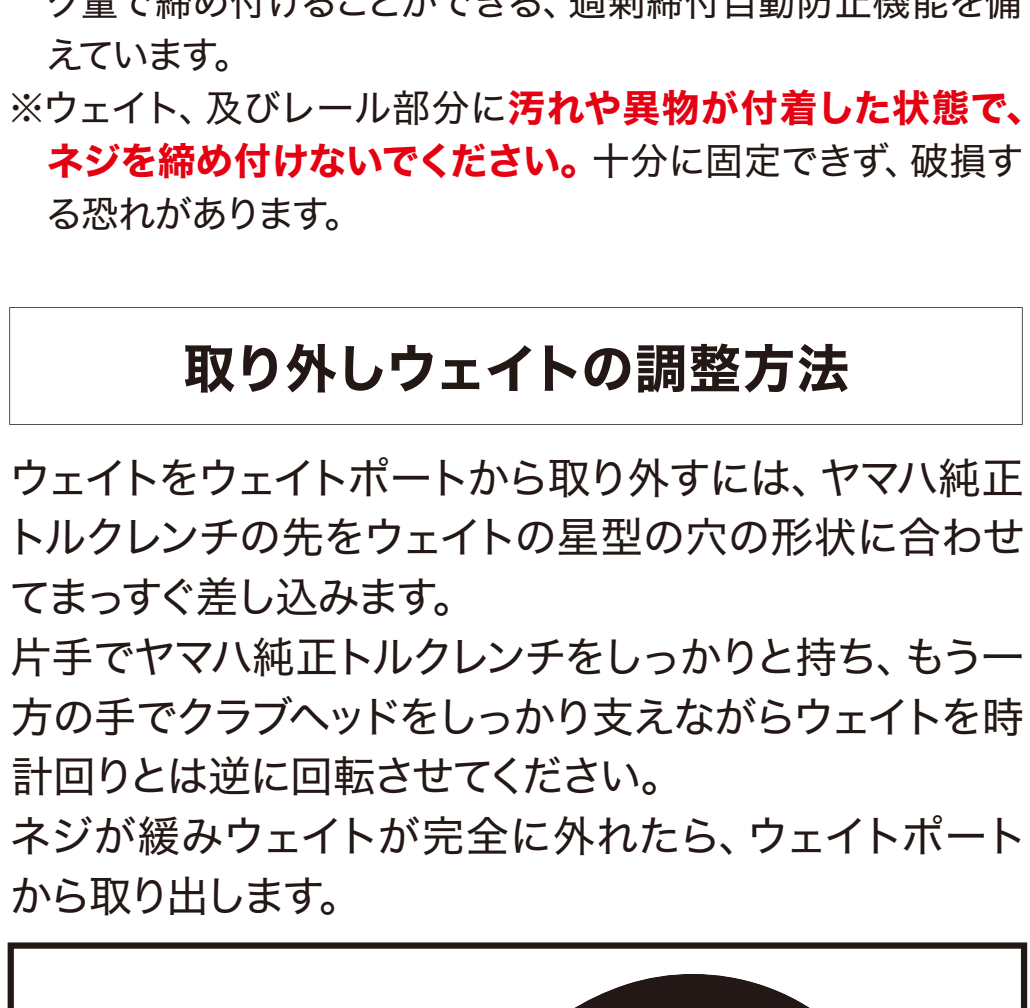
■スリーブポジションによる角度調整

	STD					UPRT		
	-2	-1	STD	+1	+2	+1	UPRT	-1
ロフト角(°)	-2	-1	0	+1	+2	+1	0	-1
ライ角(°)	+1.5	+0.5	0	+0.5	+1.5	+2.5	+3	+2.5

※2026年モデル以降のスリーブは2024年以前のヘッドには装着できません。
※ロフト角はプラスになるほどボールが高く打ち出されます。
※ライ角はプラスになるほどボールのつかまりがよくなります。

ロフト角/ライ角/シャフトを変える手順

- ①シャフト固定ネジのネジ穴の形状に合わせて、ヤマハ純正トルクレンチの先をまっすぐに挿し込みます。
 - ②クラブヘッドをしっかり支え、ヤマハ純正トルクレンチでシャフト固定ネジを時計回りと逆回転(約10回転)させて、スリーブのついたシャフトを外します。
 - ③選択したスリーブポジションをホーゼルに印された矢印に合わせてます。
 - ④スリーブの付いたシャフトを、ホーゼル内で突き当たるまで挿し込みます。
 - ⑤ヤマハ純正トルクレンチを用いて、ヒール側のシャフト固定ネジを時計回りに締め付け、スリーブをヘッドに装着します。
- その際、シャフト固定ネジは、完全に取り付けられたことを知らせる「カチッ」というトルクレンチの音が聞こえるまで、しっかり締め付けてください。



スリーブを外す：
シャフト固定ネジを時計回りと逆に回転させる。

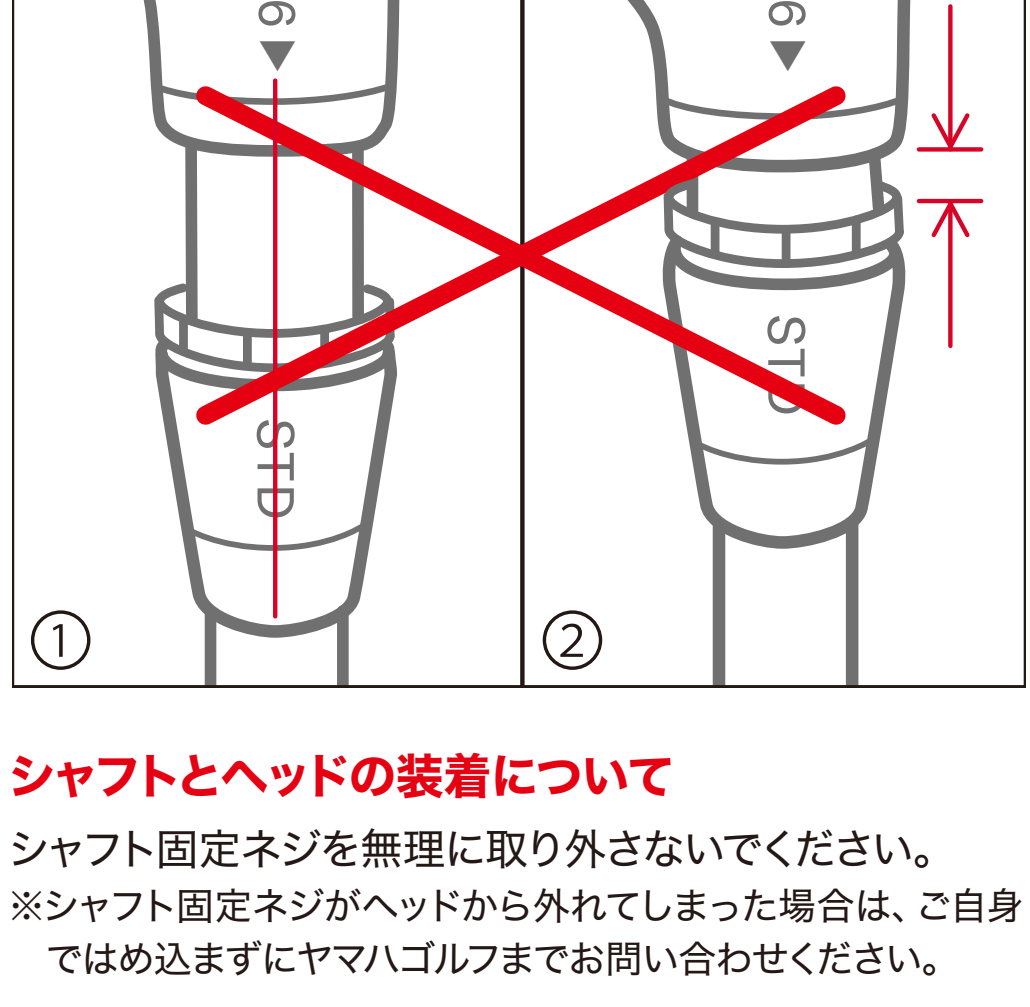


スリーブを締め付ける：
シャフト固定ネジを時計回りに回転させる。

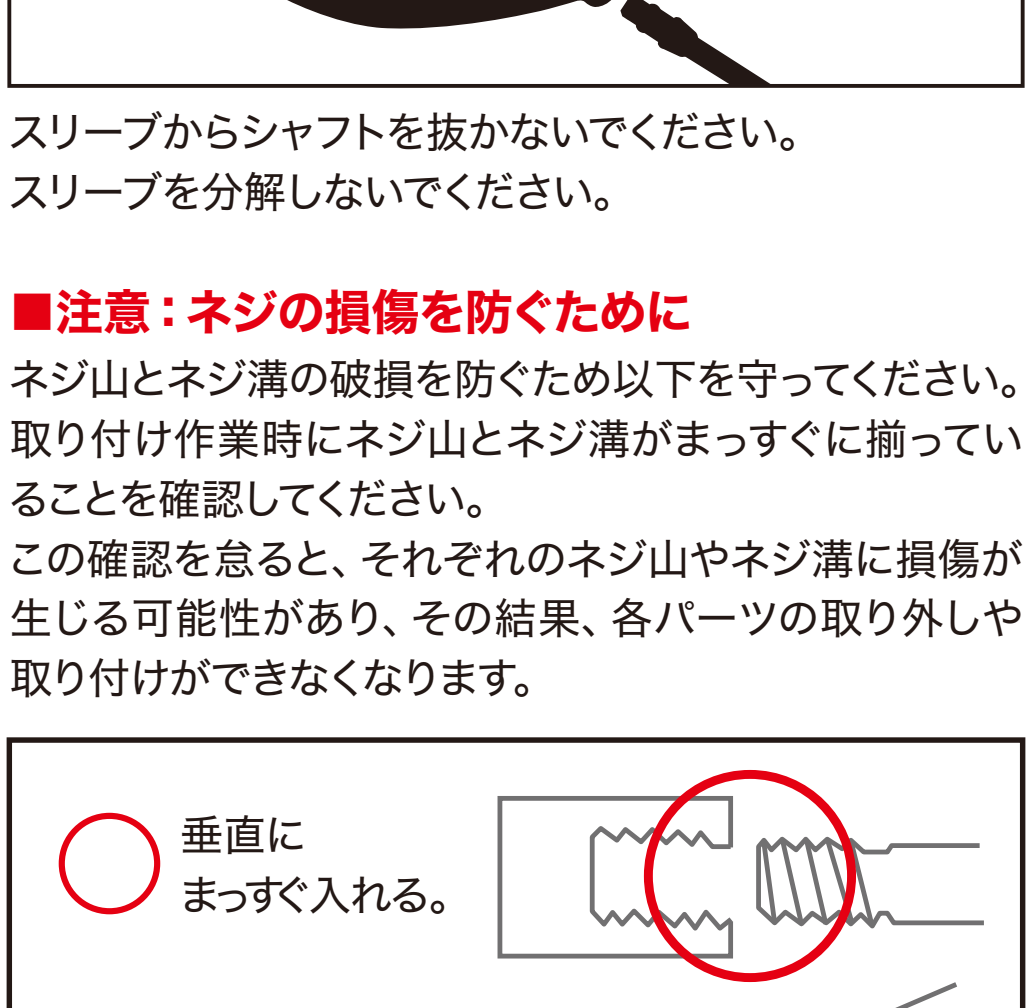
※ヤマハ純正トルクレンチは、スリーブの固定に必要なトルク量でシャフト固定ネジを締め付けることができる、過剰締付自動防止機能を備えています。

可動ウェイトの調整方法

- ①ウェイトのネジ穴の形状に合わせて、ヤマハ純正トルクレンチの先をまっすぐに挿し込みます。
 - ②クラブヘッドをしっかり支え、ヤマハ純正トルクレンチを時計回りと逆回転(約3回転)させて、ネジを緩めます。
 - ③ウェイトを希望の位置に移動させた後、ヤマハ純正トルクレンチを時計回りに回転させてネジを締め付け、ウェイトを固定します。
- その際、完全に固定されたことを知らせる「カチッ」というトルクレンチの音が聞こえるまで、しっかり締め付けてください。
- さらに、ウェイトを手で動かし、完全に固定されていることを確認してからご使用ください。



ネジを緩める：時計回りと逆に回転させる。



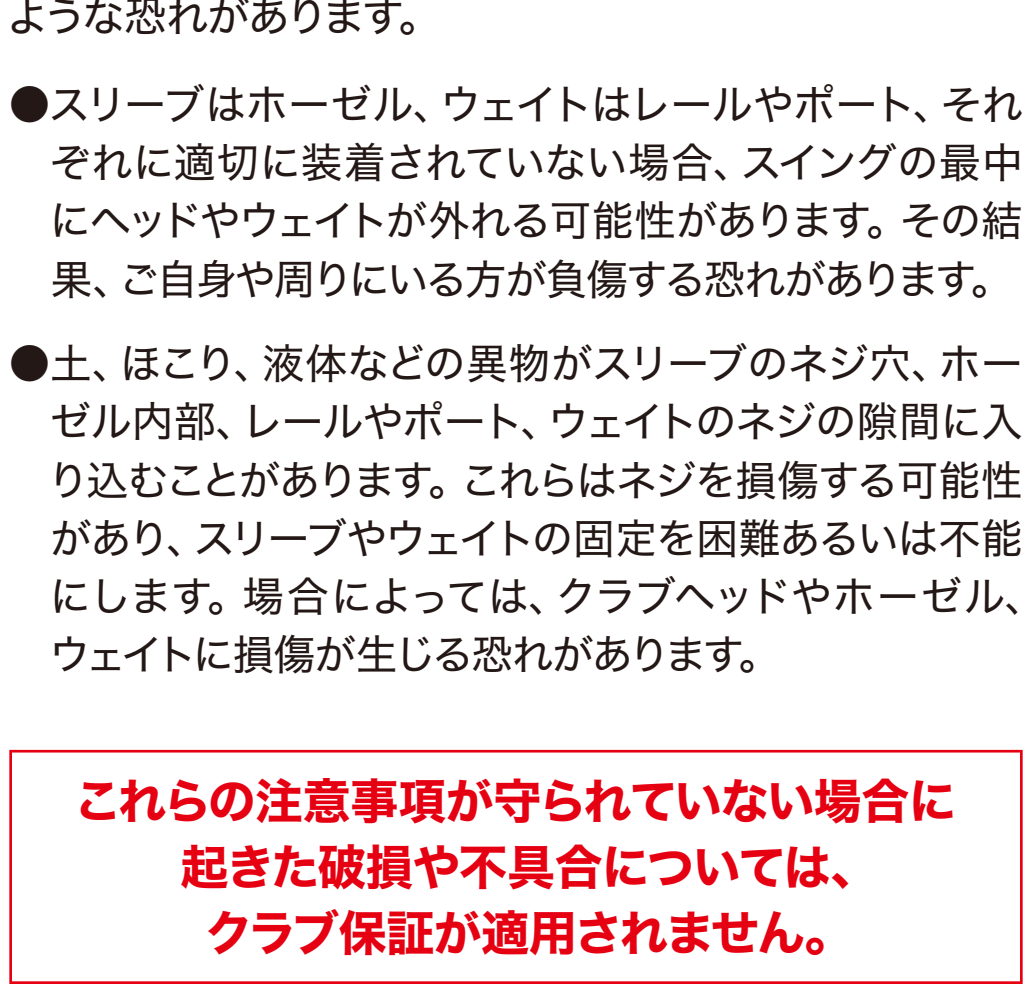
ネジを締め付ける：時計回りに回転させる。

注意

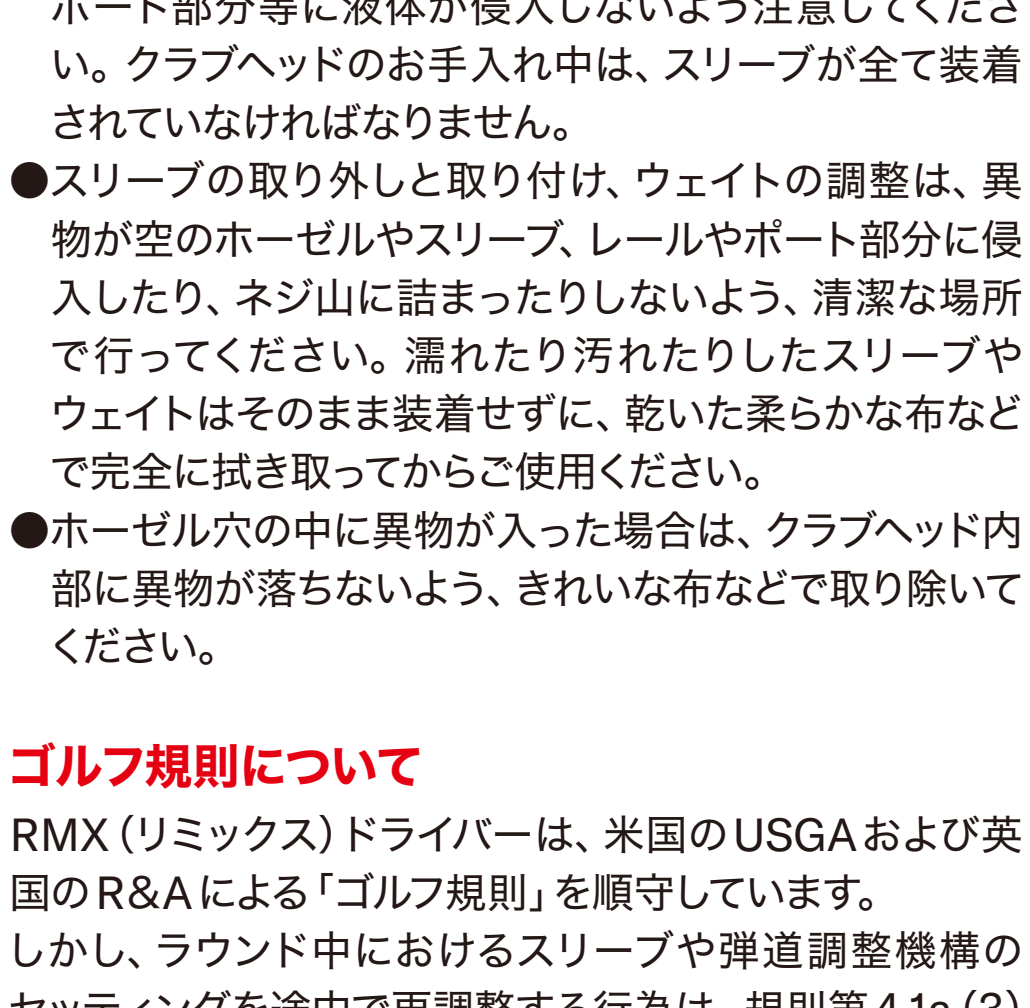
- ※ウェイトとレールのギザギザ部が、しっかりと噛み合っていることを確認してから、ウェイトを固定してください。
- ※ウェイトのネジを緩めすぎると、ウェイトが外れる場合があります。**絶対に分解しないでください。**
- ※ウェイトが外れた場合は、ご自身ではめ込まずにヤマハゴルフまでお問い合わせください。
- ※ウェイトは、特定のトルクまで締め付けることにより、完全に固定できるように設定されています。
- またヤマハ純正トルクレンチは、ウェイトの固定に必要なトルク量で締め付けることができる、過剰締付自動防止機能を備えています。
- ※ウェイト、及びレール部分に**汚れや異物が付着した状態で、ネジを締め付けしないでください。**十分に固定できず、破損する恐れがあります。

取り外しウェイトの調整方法

ウェイトをウェイトポートから取り外すには、ヤマハ純正トルクレンチの先をウェイトの星型の穴の形状に合わせてまっすぐ差し込みます。
片手でヤマハ純正トルクレンチをしっかりと持ち、もう一方の手でクラブヘッドをしっかり支えながらウェイトを時計回りと逆回転させてください。
ネジが緩みウェイトが完全に外れたら、ウェイトポートから取り出します。



ウェイトを緩めるには、時計回りと逆に回転させてください。



ウェイトを締め付けるには、時計回りに回転させてください。

※ウェイトは、特定のトルクまで締め付けることにより、完全に固定できるように設定されています。

またヤマハ純正トルクレンチは、ウェイトの固定に必要なトルク量で締め付けられる、過剰締付自動防止機能を備えています。

注意事項

■注意：ウェイトの取り扱いについて

ウェイトは使用方法を誤りますと、**重大な事故につながる可能性があります。**
必ず下記の注意を守ってください。

- ①スライドウェイトのネジを緩めすぎると外れる場合があります。また、いかなる場合も**ウェイトは絶対に分解しないでください。**万が一スライドウェイトが外れてしまったら、ウェイトを分解してしまった場合は、ご自身ではめ込まずにヤマハゴルフまでお問い合わせください。
- ②ウェイト部のネジ山を研磨したり、やすりをかけるなどの**改造や変更を決して行わないでください。**適切な装着が妨げられ、ウェイトがスイングの最中に外れる可能性があります。

■注意：スリーブについて

誤った装着位置

- ①ヘッドのネック部分の▼とスリーブの印が直線状に並んでいなければ、誤って装着されている状態です。
 - ②スリーブとホーゼルの間に段差や隙間があってはいけません。
- ※正しく装着されていない場合はネジが締まりません。

シャフトとヘッドの装着について

シャフト固定ネジを無理に取り外さないでください。
※シャフト固定ネジがヘッドから外れてしまった場合は、ご自身ではめ込まずにヤマハゴルフまでお問い合わせください。

スリーブからシャフトを抜かないでください。
スリーブを分解しないでください。

■注意：ネジの損傷を防ぐために

ネジ山とネジ溝の破損を防ぐため以下を守ってください。
取り付け作業時にネジ山とネジ溝がまっすぐに揃っていることを確認してください。
この確認を怠ると、それぞれのネジ山やネジ溝に損傷が生じる可能性があります、その結果、各パーツの取り外しや取り付けができなくなります。

■スリーブ取付時の注意

シャフトが地面と垂直になるようセットしネジが傾いていないことを確認してください。レンチは写真のように指先で軽く持ち、ネジの軸がズレないように回転させてください。この時強い抵抗があれば、すぐに締め付けを中止し、ヤマハゴルフへ検査依頼をしてください。

ネジが最後まで締まったら、レンチを持ち替え「カチッ」と音がするまで締め付け、固定をしてください。

■注意：安全にご使用いただくために

取り付けの際は、シャフト固定ネジやウェイトが完全に取り付けられたことを知らせる「カチッ」というヤマハ純正トルクレンチの音が聞こえるまで、締め付けてください。また締め付け後には、完全に固定されていることを確認してからご使用ください。

星型のネジ穴がつぶれたり、接続部分が破損したりすることを避けるために、ヤマハ純正トルクレンチ以外の工具による取り付けや取り外しは行わないでください。**また、5年以上経過したレンチは使わないでください。**

プレーまたは練習の前には、必ず「カチッ」となるまで締め直し、スリーブやウェイトが正しく装着されていることをご確認ください。

スリーブがホーゼルに、ウェイトがレールやポートに適切に装着されていないままクラブを使用した場合、次のような恐れがあります。

- スリーブはホーゼル、ウェイトはレールやポート、それぞれに適切に装着されていない場合、スイングの最中にヘッドやウェイトが外れる可能性があります。その結果、ご自身や周りにいる方が負傷する恐れがあります。
- 土、ほこり、液体などの異物がスリーブのネジ穴、ホーゼル内部、レールやポート、ウェイトのネジの隙間に入り込むことがあります。これらはネジを損傷する可能性があります、スリーブやウェイトの固定を困難あるいは不能にします。場合によっては、クラブヘッドやホーゼル、ウェイトに損傷が生じる恐れがあります。

これらの注意事項が守られていない場合に起きた破損や不具合については、クラブ保証が適用されません。

保管方法・お手入れ

- スリーブのネジ穴、ホーゼル内部への異物侵入を防ぐため、各パーツを正しく装着したまま保管してください。
- クラブヘッドのお手入れ時、またはその他のいかなる場合においても、ホーゼル、スリーブのネジ穴、レールやポート部分等に液体が侵入しないよう注意してください。クラブヘッドのお手入れ中は、スリーブが全て装着されていなければなりません。
- スリーブの取り外しと取り付け、ウェイトの調整は、異物が空のホーゼルやスリーブ、レールやポート部分に侵入したり、ネジ山に詰まったりしないよう、清潔な場所で行ってください。濡れたり汚れたようなスリーブやウェイトはそのまま装着せずに、乾いた柔らかな布などで完全に拭き取ってからご使用ください。
- ホーゼル穴の中に異物が入った場合は、クラブヘッド内部に異物が落ちないように、きれいな布などで取り除いてください。

ゴルフ規則について

RMX (リミックス) ドライバーは、米国のUSGAおよび英国のR&Aによる「ゴルフ規則」を順守しています。
しかし、ラウンド中におけるスリーブや弾道調整機構のセッティングを途中で再調整する行為は、規則第 4.1a (3) 「ラウンド中にクラブの性能特性を故意に変えること。」という規定に抵触し、ゴルフ規則の順守不履行とみなされます。